

井井井井

**なりたち** ● 四角くわくを組んだ井戸をえがいた形。井戸のまわりに人々が集まり住んだので、町の意味にも使われる。

**井** ↓ **井**

- 1 いみ・ことば ● 井桁。井戸。井戸水。
- 2 いげた(井)のような形。● 天井。
- 3 まちなか。● 市井。

- つかいかた
- 井戸水をくみ上げる。
- 井戸端会議に花がさく。
- 福井県の丸岡城。
- 天井を見上げる。
- 市井の人の暮らし。



**井**

二二画 (4画) 音 (セイ) ヲウ

井

well [ウエル]

佐佐佐佐

**なりたち** ● 「左」は、工作をするとき、右手をささえて助ける左手のこと。それに「イ(ひと)」を組み合わせ、手助けをする人の意を表した。

**佐**

● 「佐幕」とは、江戸時代の終わりに幕府に味方したこと。● 「佐官」とは、大佐・中佐・少佐の総称で、将官の下の地位。

- 1 わきて手助けをする。● 佐幕。王佐。
- 2 軍隊などの階級の一つ。● 佐官。空佐。
- 3 少佐。大佐。

- つかいかた
- 先生を補佐する。
- 佐幕派の志士。
- 佐官以上の地位。
- 佐賀県の吉野ケ里遺跡。



**佐**

イ五画 (7画) 音 サ

佐

help [ヘルプ]

埼埼埼埼

**なりたち** ● 「奇(まがる)」と「土(つち)」を合わせた字で、陸地が曲がって海に突き出しているよすを表した。

**埼**

● 「みさき」の意味では「さき」と読み、崎も使う。● 「埼京線」は、埼玉と東京をつなぐ電車。

- 1 陸地が海や湖に突き出た先のほう。みさき。● 犬吠埼。地蔵埼。
- 2 山のはし。● 山の出っばったところ。● 埼玉。● 埼京線。
- 3 埼玉。● 埼京線。

- つかいかた
- 埼玉県の川越市。
- 埼玉出身の友達。
- 埼京線で通学する。
- 千葉県の犬吠埼。



**埼**

士八画 (11画) 音 さい

埼

cape [ケイブ]

# 奈

大5画 (8画)

訓 音 ナ

# 奈

はねる

つかいかた

- 奈落の底に沈む。
- 真意は奈辺にあるのか。
- 奈良の都。
- 奈良奈の地域。

読み・いじり

- 1 赤い実のなるリンゴの木。
- 2 どうしようか。どうして。どんな具合か。
- 3 奈良。● 京阪奈。

● 「奈落」は、地獄やどん底のこと。  
 ● 「奈辺」は、どのおあたりの意で「那边」  
 とも書く。● 「京阪奈」は、京都・大  
 阪・奈良のこと。

なりたち

「木(き)」と「示(まつり)」を合わせた形の「奈」が「奈」に変わったもの。ま  
 つりのそなえものにするリンゴの木を表した。

奈 奈 奈 奈 奈 奈 奈 奈 奈 奈



# 媛

女9画 (12画)

訓 音 エン

# 媛

ななめ右の上に lady [れイディ]

つかいかた

- 愛媛県の道後温泉。
- 愛媛でとれたミカン。
- 才媛として知られている人。

読み・いじり

- 1 美しい女性。● 才媛。名媛。
- 2 身分の高い人の娘。また、その人に付ける敬称。おひめさま。● 磐之媛。弟橘媛。

● 特別な読み方: 愛媛 ● 「才媛」は、  
 学問や才能がある女性のこと。● 「名媛」は、  
 名高い女性のこと。

なりたち

「爰(ゆとりがある)」と「女(おんなの人)」とを合わせた形。ゆつたりとして  
 おくゆかしい、美しい女性を表した。「爰」は  
 「緩(ゆるい。ゆるやか)」に含まれている。

媛 媛 媛 媛 媛 媛 媛 媛 媛 媛



# 岐

山4画 (7画)

訓 音 岐

# 岐

分かれる 文と書かない split [スアット]

つかいかた

- 人生の岐路に立つ。
- 道が分岐している。
- 選択肢は多岐にわたる。
- 讃岐うどんを食べる。
- 岐阜県の白川郷。

読み・いじり

- 分かれる。二つに分かれる。分かれ道。
- 岐路。多岐。分岐。

● 特別な読み方: 岐阜 ● 「岐山」と  
 いう山を根拠地に、文王が周という国  
 をおこしたのにちなんで、稲葉山城  
 に移った織田信長はその土地を「岐阜」  
 (「阜」は「おか」の意)と名づけた。

なりたち

「支(たすか)」「山(やま)」と  
 を合わせた字。枝のように分かれた山道のよ  
 うすから、「分かれる」ことを表した。

岐 岐 岐 岐 岐 岐 岐 岐 岐 岐



# 岡

山5画(8画)

訓 音  
おか

# 岡

はねる

hill [ヒル]

つかいかた

- 岡の上からのながめ。
- 時代劇の岡つ引き。
- 岡山県のきびだんご。
- 静岡県でとれたお茶。
- 福岡県の小倉城。



● **小さな山。** 土地の、小高くなったところ。おか。

● **四字熟語：岡目八目**(ちよくせつ 関係してない人のほうが、正しく物事のよしあしを判断できること。「岡目」は「傍目」とも書く) ● 「岡つ引き」は、江戸時代に事件の調査などをした人。

● **なりたち** 「山(やま)」と「岡(網)」を合わせた字。あみをささえる「網」のじょうぶな網のように、「岡」の形をしたがじょうぶな山(おか)を表した。

岡岡岡岡岡岡岡

# 崎

山8画(11画)

訓 音  
さき

# 崎

はねる

cape [ケイブ]

つかいかた

- 静岡県石廊崎。
- 長崎の出島。
- 宮崎県の高千穂峡。
- 川崎市にある工場地帯。



● **いみこいば**

- **陸地が海や湖に突き出た先のほう。** みさき。
  - 石廊崎。観音崎。竜飛崎。
  - 山道がけわしい。

● **なりたち** 「奇」は「崎」は「き」と読む。この場合、「崎」は「き」と読む。

● **なりたち** 奇 ↓ 奇

● **なりたち** 「奇(まがる)」と「山(やま)」を合わせた字で、陸地が曲がって海に突き出しているようすを表した。

崎崎崎崎崎崎崎

# 茨

+6画(9画)

訓 音  
いばら

# 茨

ななめ右上に

thorn [ソーン]

つかいかた

- 茨に引つかかる。
- 茨の人生。
- あえて茨の道を進む。
- 茨城県産の納豆。



● **いみこいば**

- **とげのある植物。** ● 野茨。
- **植物のとげ。** ● 茨の道。

● **なりたち** 「次(ふぞろいに並び)」と「艹(草)」を合わせた字。枝やとげが、ふぞろいに並んだ草のこを表した。もとは、とげのあるハマビシのこと。のちに、とげのある植物ということでイバラの意味になった。

● **なりたち** 「特別な読み方：茨城」 ● 「茨の道」は、とげのある茨がはえた道のように、困難や苦しみの多い人生のこと。 ● 「茨」と書いてもよい。

茨茨茨茨茨茨茨

# 阜

阜 0 画 (8 画)

訓 音  
フ

阜

hill [ヒル]

つかいかた

岐阜県の下呂温泉。

岐阜城について調べる。

のき先に岐阜提灯をつるす。



小高い所。おか。台地。丘阜。

おか。台地。

丘阜。



● 特別な読み方…岐阜 ● 「阜」は、漢字の部首の一つ。これがへんになると、こざとへん(阜)になる。こざとへんの漢字には「陸」や「階」などがあり、おかや積み上げた土・階段などに関係がある。形が似ているおおざと(阜)のものゝ形は「邑」。

高いおかの意。

なりたち 阜 ↓ 阜

● 積み上げた土をえがいた字。

阜阜阜阜阜阜阜阜

# 阪

阪 4 画 (7 画)

訓 音  
ハ  
ン

阪

slope [スルウプ]

つかいかた

大阪の名物を見に行く。

阪神工業地帯。

京阪地方。

東京から帰阪する。仕事で上阪する。

道がのぼり、くだりになっているところ。

1 道がのぼり、くだりになっているところ。



2 大阪。阪神。帰阪。京阪。



● 特別な読み方…大阪 ● 「阪神」は、大阪と神戸のこと。● 「京阪」は、京都と大阪のこと。● 「帰阪」は、大阪へ帰ること。● 「上阪」は、大阪へ行くこと。

なりたち

「反(ハ)の形や(ハ)の形にそりかえる」と「阪(おか)」とを合わせた字。(ハ)の形にそりかえたようにかたむいたおか、「さか」を表した。

阪阪阪阪阪阪阪阪

# 枳

枳 5 画 (9 画)

訓 音  
と  
ち

枳

つかいかた

枳木桌の日光東照宮。

枳の木を植える。

枳粥を作る。

枳麵を食べる。

トチノキ。山に生える高木。葉は手のひらのような形をしている。



枳麵。



● 「枳」は、日本で作られた漢字。● 「枳麵棒を食う」は、うろたえあわてるの意。● 「枳麵」は、トチノキの実の粉を入れて作った麺。● 「枳粥」は、トチノキの実を入れて作った粥。

なりたち

「十」と「千」をかけると万になることから、「万」と「ち」と読み、その方に「木(キ)」を合わせた「枳」でトチノキを表し、「枳」が「枳」に変わった。

枳枳枳枳枳枳枳枳

# 梨

木7画 [11画]

訓 音  
なし

# 梨

はねる

pear [ペア]

つかいかた

● 梨の皮をむく。

● 洋梨を買ってきた。

● 山梨県産のブドウ。

● 手紙を出したが梨のつぶてだ。

● 梨園の名門。

ごみ・ハジメ

● バラの仲間の木。 ● 洋梨。 ● 梨園。

● 「梨のつぶて」は、投げられたつぶて(小石)のように、相手からの返事がな  
いこと。 ● 「梨」は「無し」にかけている。  
● 「梨園」は、演劇やかぶき役者の世界  
のこと。むか中国の玄宗皇帝が、梨  
の木のある庭(梨園)で音楽やおどりを  
教えたという言い伝えから。

なりたち

● 「利(よく切れる)」と「木(き)」と  
を合わせた字で、さくさくとよく切れるナシの実  
のことを表した。

梨 梨 梨 梨 梨 梨 梨 梨



# 沖

シ4画 [7画]

訓 音  
おき

# 沖

真下にまっすぐ

offshore [オフショア]

つかいかた

● 沖に出て泳ぐ。

● 沖合いへ出てみる。

● 沖合い漁業を行う。

● 沖縄県の美しい海。

● 沖積層と洪積層。

ごみ・ハジメ

1 陸から遠く離れた海の上。 ● 沖合い。  
2 のぼる。 上がる。 ● 沖天。

● 「沖合い漁業」は、海の沖のほうで行  
われる漁業のこと。 ● 「沖天」は、空高  
く上がること。人の勢いがあることに  
もいい、「沖天の意気(はりきった気持  
ち)」などの表現がある。

なりたち

● 「中(なか)」と「シ(水)」を合  
わせた形。「海のまん中」「おき」という意味  
を表した。

沖 沖 沖 沖 沖 沖 沖 沖



# 滋

シ9画 [12画]

訓 音  
し

# 滋

この形に注意

nutrition [ニュートリション]

つかいかた

● 滋味に富む料理。

● 滋養強壯の効果がある。

● 京滋地方。

● 滋賀県には琵琶湖がある。

ごみ・ハジメ

1 草木がしげる。ふえる。 ● 滋雨。  
2 うるおう。うるおす。 ● 栄養になる。

● 滋養。 ● 滋味。  
3 滋賀。 ● 京滋。  
● 特別な読み方: 滋賀 ● 「京滋」は、  
京都と滋賀のこと。

なりたち

● 「滋」は、細い糸と草の芽を合  
わせた形で、小さい物が増えるという意味を  
表した。それに「シ(水)」を合わせて、草木  
がしげるようすや、草木をうるおすようすを  
表した。

滋 滋 滋 滋 滋 滋 滋 滋





# 潟

12画【15画】

訓 音  
かた

## 潟

lagoon [ラゲーン]

この形に注意

つかいかた

- 干潟で潮干狩りをする。
- 人工干潟を造成する。
- 新潟県の人口を調べる。
- 秋田県の八郎潟。

いみこぼ

- 遠浅の海岸で、潮が引くと海の底があらわれる所。
- 入り江。
- 松浦潟。

「じんこうひがた」は、人のカてつくられた干潟のこと。●秋田県の八郎潟は、現在ではほとんどが干拓されている。

なりたち

「潟」には「場所を移動する」というイメージがある。それに「シ(水)」を合わせて、水が出たり入ったりする「ひがた」を表した。

潟 潟 潟 潟 潟 潟 潟 潟 潟 潟

# 熊

10画【14画】

訓 音  
くま

## 熊

bear [ベア]

点のうち方に注意

つかいかた

- 森にすむ熊。
- 北極圏の白熊。
- 熊手を飾る。
- 熊本県の阿蘇山。
- 熊野詣をする。

いみこぼ

動物のクマ。●熊手。穴熊。白熊。

「熊手」は、もとは熊の手のような形をした道具のこと。落ち葉などをかき集めるために使う。のちに、福をかき集める縁起物として作ったものが、とりの市で売られるようになった。

なりたち

熊 → 𧆏 → 能

「能」はクマをえがいた形。それに「火(火)」を合わせて、火のよういきおいがあり力強い動物であるクマを表した。

熊 熊 熊 熊 熊 熊 熊 熊 熊 熊



# 縄

9画【15画】

訓 音  
なわ

## 縄

rope [ロープ]

はねる

つかいかた

- 縄ばしごで登る。
- 縄とびをして遊ぶ。
- 沖縄県の首里城。
- 泥縄式の試験勉強。
- 縄文時代のことを勉強する。

いみこぼ

わらや布などをより合わせて作ったひも。●縄とび。縄ばしご。縄張り。縄目。泥縄。縄文時代。

「泥縄」は、ことがさしせまってから、あわてて用意すること。●「縄目」は、罪人として縄でしばられること。(例 縄目にかかる)

なりたち

もとの字は「繩」。「繩(体の長いトカゲ)」と「糸(いと)」を合わせた形。トカゲのように長い引きつなを表した。

縄 縄 縄 縄 縄 縄 縄 縄 縄 縄



# 香

香 0画 (9画)

訓音 (キヨウ)  
かおり  
かおる

## 香

fragrance  
[フレグランス]

つがいかた

- 香川県のうどん。
- さわやかな香り。
- 香水をつける。
- お線香をあげる。
- 香車を動かす。



ごみ・いほ

- 1 におい。かおり。● 梅の香。木の香。香味。芳香。
- 2 よいにおいを出すもの。よいにおい  
がするもの。● 香水。香油。香料。香炉。  
線香。
- 3 将棋のごまのひとつ。香車。● 香取

なりたち

「黍(きび)」を省略した「禾」と、「甘(あまい)」の変わった「日」を合わせた字。キビをにたときの甘いかおりを表した。

香香香香香香香香香香

# 鹿

鹿 0画 (11画)

訓音  
かしか

## 鹿

deer [ディア]

つがいかた

- 鹿の生態を調べる。
- かわいい子鹿。
- 鹿の馬。
- 鹿の子絞りの着物。
- 鹿児島県の桜島。



いみ・ごほ

- 1 山野にすむ動物の名。● 鹿毛。大鹿。日本鹿。
- 「鹿毛」は馬の毛色の名で、体が鹿に似た色で、たてがみや尾などが黒いもの。● 「鹿の子絞り」は、鹿の背の白いまだらに似た絞りぞめ。● 「鹿を追う者は山を見ず」は、ひとつのことに夢中になる人には、ほかのことを見るゆとりがないこと。

なりたち

動物のシカの形をえがいた字。

鹿 ↓ 鹿

鹿鹿鹿鹿鹿鹿鹿鹿鹿鹿